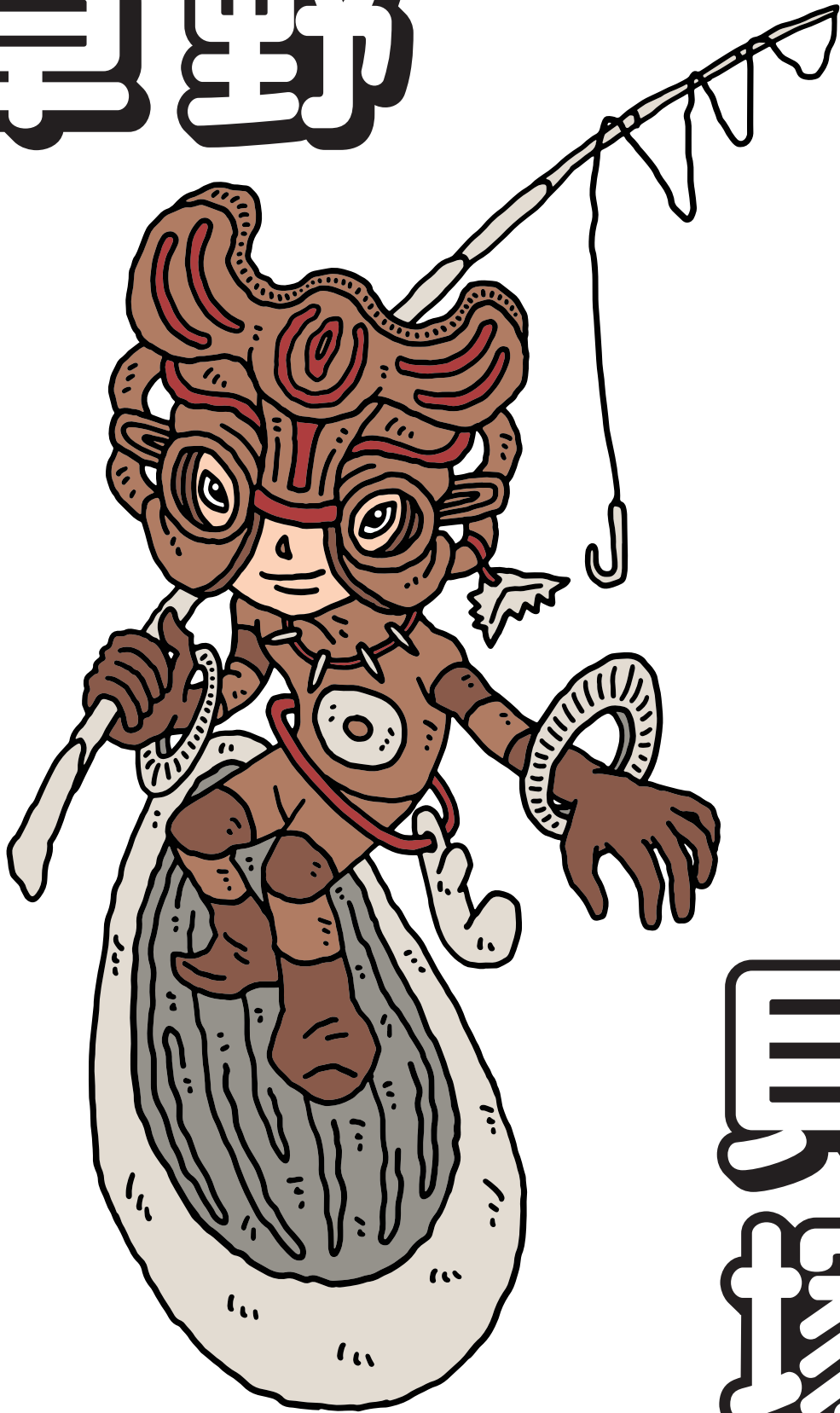


Vol.2 土器

草野



貝塚

1 草野貝塚の概要

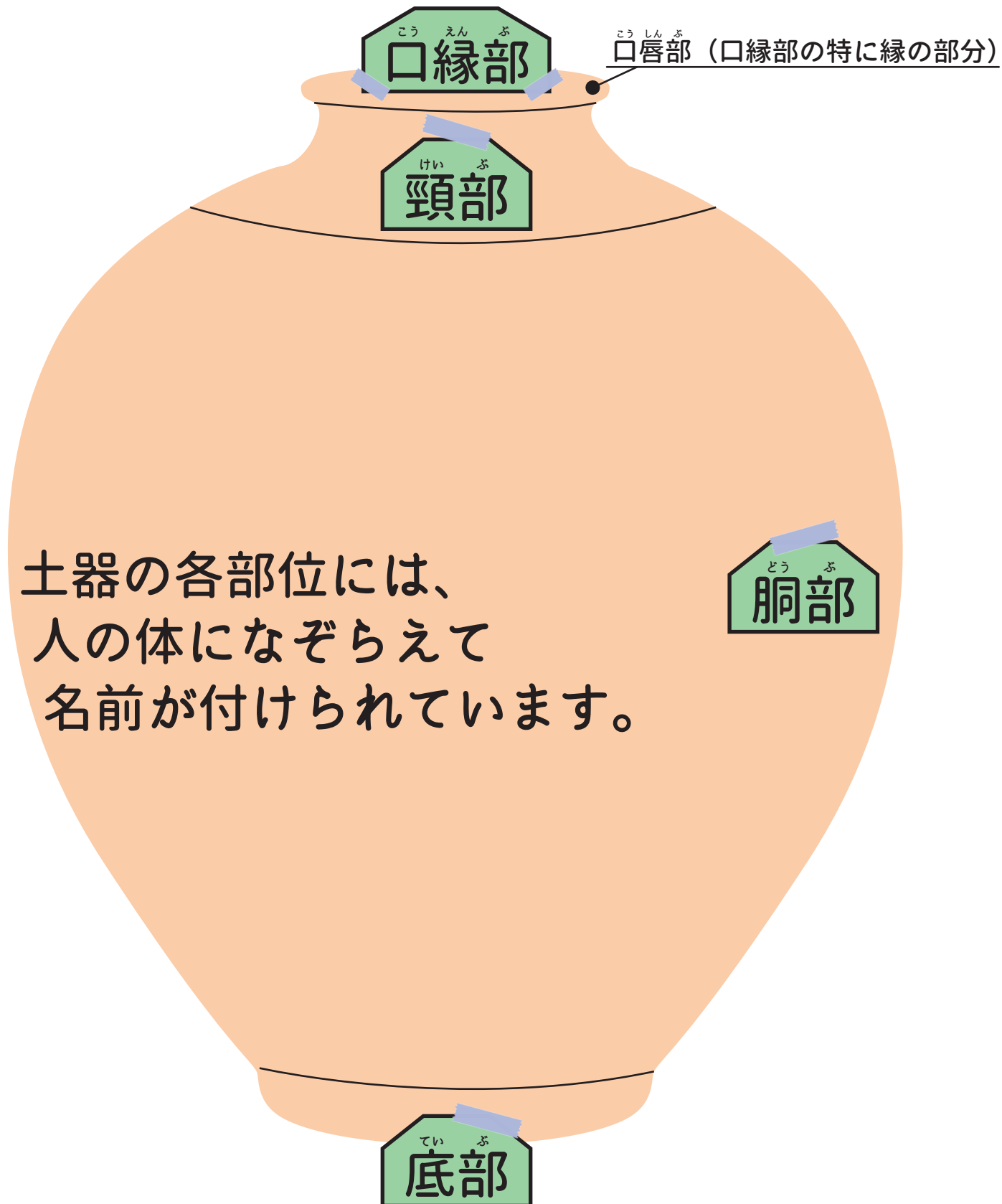


草野貝塚は七ツ島の崖に
作られた貝塚です。

草野貝塚は、およそ 4500 年前から
3300 年前の縄文時代後期の遺跡です。

2 土器の特徴

様々な遺跡から発掘された土器は、土器の形をもとに分類されます。それを「型式」といい、初めてその型式が発見された遺跡の名前がつきます。



3 草野式土器

頸部を中心に、貝殻やへらなどで文様が施される。



口縁部分に文様はいれず、丸く仕上げる



緩やかなカーブ

真横から
見ると...



4 出土した主な土器



拡大!



指宿式土器

口縁部から胴部にかけて
沈線で様々な文様を施すもの。



裏面にも文様!





松山式土器

厚く、広くなった口唇部の平坦な部分に文様を施すもの。



上から見ると…



市来式土器

草野貝塚で最も多く出土した型式。
口縁部断面が三角形。
多様な文様が施されている。

キャラクターの
モチーフになった土器！



台付皿

皿に脚台が付いたもの。
脚台には複雑な装飾が施されている。



